

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R 東海労働組合

発行人 木下 和樹
編集人 高山 浩

2023年
3月1日
第467号



JR東海労

http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/

2023 J R 総連春闘を全国の仲間と共に闘うぞ!

第36回定期中央委員会開催



大幅賃上げを目指し職場から闘おう!

木下委員長挨拶 (要旨)

J R 東海労は2月11日、名古屋市内で第36回定期中央委員会を開催しました。議長に新幹線関西地本の西中央委員を選出しました。来賓として、J R 総連山口委員長、熊谷書記長、伊藤広報部長が出席されました。

今委員会では、2023 J R 総連春闘を統一要求・統一闘争で闘うこと、田川哲史さんに引き続き、刀谷栄治さんの加入を共に呼びかけ、共に闘うことを確認しました。また、刀谷さんへの檄、新幹線関西地本の船出和幸さんの診断書強要本人訴訟への檄が渡されました。

刀谷栄治さんの加入を熱烈歓迎します。尽力いただいた新幹線関西地本の皆さんにお礼申し上げます、ご苦勞をねぎらいた

と思います。

J R 東海の第3四半期連結決算は、経常利益は2,544億円、四半期純利益が1,806億円です。経営状況は回復しつつも、コロナ禍前と比べると7割強です。

経団連は1月17日、2023年春闘の経営側の指針となる「経営労働政策特別委員会(経労委)報告」を発表しました。物価高の現状を重視して賃上げを強化し、ベアを前向きに考えるよう会員企業に要請しました。

総務省が1月20日発表した12月の消費者物価指数は、前年の同じ月より4.0%上昇しました。来年度の家計負担は今年度と比べ、平均で4万円近く増えるとの試算も出ており、私たちの生活は苦しくなる一方です。

連合の今春闘の方針は、賃上げ相当分3%+定昇相当分2%の5%程度、です。しかし、連合方針を上回る要求を立て

J R 総連は、第45回定期中央委員会において「ベア1万円の統一要求」を掲げ、統一闘争で闘うことを決定しました。J R 東海労はJ R 総連の仲間と共に「ベア1万円要求」を柱として掲げ、生活上、労働者の社会的地位向上、組織強化・拡大を目指し闘います。

ロシアとウクライナが戦争を始めて1年が経過しようとしています。両国の労働者が兵士として駆り出され、殺し合いをさせられ、西側諸国は兵器産業を潤わせています。アジアでは、国際秩序再編を議論する習近平の中国の海洋進出、ミサイルの射程距離向上、アメリカを意識した北朝鮮の動向など、非常にきな臭い状況です。

日本は昨年12月、外交・防衛政策の長期指針「国家安全保障戦略」など安保関連3文書を改定し、歴代政権が戦後一貫して否定してきた敵基地攻撃能力(反撃能力)の

保有や、防衛関連の予算を2027年度に対国内総生産(GDP)比2%への倍増としました。軍事大国化に繋がる安保政策の大転換です。ひとたび武力衝突が起れば、犠牲になるのは労働者や社会的弱者です。平和・人権・民主主義を守るために奮闘します。

会社は「最新の技術を活用した経営体力の再強化より安全で、より便利で、より快適な鉄道を目指して」と「J R 東海グループビジョン2032」挑戦と実践」を公表しました。共通していることは、儲ける、稼ぐ、もつと働け、ということ。会社は業務改革を通じて、最新技術を導入し「より安全で、より便利で、より快適な鉄道」を目指すとしています。

無人駅とワンマン列車で、ハンディキャップのある利用者やベビーカーの利用者などに十分対応ができるのか、また、今では大規模な自然災害で列車の運行がストップすることが多々ありますが、運行不能になった場合など迅速な復旧ができるのか、非常に危惧します。

J R 東海、及びJ R 東海グループの描く鉄道の将来像は、交通政策基本法第17条、22条を無視し、儲けになる利用者とならない利用者の選別をし、儲けになる対象者に資本を集中させるものなので、私たちは、ひとつ一つにこだわり、目的は何なのか、労働者にどのような不利益が生まれるのかなど、職場の中で問題提起をします。

岸田首相は「リニア開業後、静岡県内で東海道新幹線の停車本数を増やすための調査について、一定の取りまとめを行い、関係者に丁寧な説明を行いたい」と述べました。今更国が調査をしながらも、会社としてデータがあるはずで、会社と国がやろうとしていることは、生活・環境問題から利便性問題へのすり替えであり、経営への政治介入です。今やるべきことは、沿線住民の皆さんの不安と懸念の払拭に努めることです。丹羽次期社長は、リニアの開業予定について明言していません。明言できないのでしよう。私たちは沿線住民の皆さんとの連帯をつくり出してきました。経営破綻と環境破壊を招くリニア建設に反対する闘いを進めていきます。

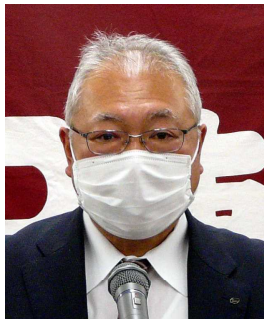
年休裁判は、大阪では2月27日に結審、東京では3月16日に判決言い渡しを迎えます。提訴から5年以上、書面づくりや証人審問の準備など支えて下さった全ての皆さんに感謝申し上げます。3月8日には「職場闘争と

【2面に続く】

第三者機関を結合させた闘いの成果と課題」を確認する集会を開催します。54歳原則出向に関する課題、団体交渉拒否に関する行政訴訟、診断書強要の課題など、様々な課題で第三者機関を活用して闘いを展開していま

2023JR総連春闘を共に闘おう!

山口委員長挨拶 (要旨)



昨年の田川さんの加入に続き、刀谷さんの加入に感謝申し上げます。

JR総連は第45回定期中央委員会を開催し、2023JR総連春闘、戦争強化に反対する闘い、地方ローカル線・物流ネットワークを維持する闘い、安全確立など多岐にわたる議論がされました。

JR総連は、今春闘でベア1万円の要求を掲げました。統一要求・統一闘争の実現のために、各単組・労連と議論を重ねてきました。そして、春闘スローガンを打ち立て、物価上昇と組合員の生活実態を基に、闘いをつくることを確認しました。連合の定期昇給2%、

す。私たちの闘いは、JR東海だけではなく、全ての労働者の問題であることを認識すると共に、労働条件や職場環境改善、組織強化に向け闘う意思統一をしていきたいと思います。共にがんばりましょう。

ベア3%の基本方針をベア1%に要求額を検討してきました。

JR連合は、ベア1%3,000円の要求です。「目先の支払い能力論に捕らわれることなく、未来づくりの視点で人材への投資を不断に追求し、働きの価値に見合った水準へと引き上げていかなくてはならない」だそう

です。会社の主張のオウム返しです。更なる生産性向上にもろ手を上げて賛成し、労働強化、会社の収入確保のために組合員を差し出します、というのがJR連合の考え方です。御用組合としての存在を満天下にさらけ出しました。今春闘において、JR連合の反労働者性をハッキリさせなければなりません。

岸田政権は、日本を武器供与国の仲間入り、軍産複合体の繁栄と共に政権安定へと舵取りをしています。ウクライナへの

武器供与は、戦闘を更に深刻化するものであり大反対です。9条連との共闘は更に強めていかなければなりません。

JR東日本国府津運輸区で、現場長、管理者ら

によるハラスメントがさされました。断じて許されません。日勤教育は組織破壊は言語道断です。他の職場でも、懲罰的日勤教育・人格否定がやられています。連帯と反撃の

全中央委員が刀谷さん歓迎の発言!

職場の実践の報告相次ぐ

◆刀谷さんの加入を熱烈歓迎する。仲間の奮闘に感謝し、刀谷さんと共に闘う。

◆各種裁判を闘っている。4件は本人訴訟である。闘いの意義を確認するために、活動者会議を開催した。闘いによって、職場で成果が現れた。

◆障がい者団体との交流を継続してきた。問題を訴え、多くの成果を勝ち取った。しかし、新型新幹線の乗降時における課題は山積している。

◆会社とJR東海ユニオンは、水面下で業務改

闘いをお願いします。JR総連は5月20日に、地方ローカル線の存続を軸に、政策提言集会を開催します。積極的な意見を要請します。

い作業もある。それらを棚上げにし、労働強化をすることに反対である。問題点は明らかにしていく。

◆組合員に不整脈が出て、現場は半年間の経過観察を行うとしたが、54歳原則出向に基づく出向命令が出された。組合員は苦情処理会議の委員であるが、会社は会議の出席を認めなかったが、本人と地本の闘いで苦情処理会議の出席を認めさせた。また、地本は抗議集会を開催した。

◆連合芳野会長は、中小企業の賃上げについて「製品の価格転嫁を」と、できもしないことを述べた。実態が分かっている。

◆2022JR総連春闘では、各単組の連帯を勝ち取った。今春闘も、連帯して闘う。

◆70歳までの雇用が確保できる仕組みをお願いする。

◆第25回登山大会の準備を行い、大会は成功裡に終わった。

◆年休裁判の原告で準備書面の読み合わせを行った。年休は取りたいとくに取るもの、時季変更権の行使、5日前の勤務確定は納得できないのが私たちの主張だが、会社はもとにも反論できない。

◆JR東日本の懲罰的日勤教育は組織破壊攻撃であり、許されない。

◆CMC(セントラルメンテナンス)への申し入れを行う。

◆協約・協定改訂交渉と併せて、地本として要求をピックアップして情報を発行してきた。

◆地本レクを全組合員が参加できるように2ヶ所で開催した。OBも参加した。旗開きには多くのOBが参加した。レク開催の成果である。

◆労働組合に説明する前の、業務改革の公表は労働組合軽視だ。職場での説明会でリニアについてなど質問をした。「冊子に書いていないことは聞かないでくれ」との回答であった。現状の設備での3両以上のワンマン運転は問題という意見も言った。地本は分会代表者会議を開催し、業務改革は反対することを意思統一した。

◆静岡運輸区で壁掛け時計(電気時計)が撤去された。一方では、管理者側には電波時計が設置

された。時間管理を個人の責任にすることである。時計の管理の人員も削減されることを考えれば、業務改革の一環である。地本は申し入れする。

◆地本は分会拡大代表者会議で、2023JR総連春闘での統一ベア1万円要求、定昇完全実施、今定期中央委員会で確認される方針と交渉内容を各職場で広げていくことを確認した。

◆新横浜駅での掲示板獲得のための闘い、コロナ感染者発生時の会社対応の申し入れ、相鉄線乗り入れに伴う要員増員の申し入れなどの闘いを展開してきた。

◆業務改革は関連会社にも影響が出る。団体交渉を追求していく。

◆出向先会社で健康診断会場までの交通費不支給を問題とし、支給させたい。おかしいと感じたら行動することである。今後も出向組合員と連携していく。

◆コロナに感染し、労災申請を行った。会社から妨害があったが、労災が認定された。

◆分会では、田川さんに続く組織拡大を目指す。

◆関西新幹線サービスクとは2ヶ月に1回、職場改善を目指し団体交渉を行っている。欠員の要員を確保、雨ガッパ貸与、クーラー設置などを勝ち取った。



◆裁判プロジェクトをつくって議論してきた。勝利に向けて闘う。

◆診断書の強要は許してはいけません。

◆会社は業務改革で大きな転換点を目指そうとしている。部品などの取り替えは手作業であり、経験を積まないとできな

い作業もある。それらを棚上げにし、労働強化をすることに反対である。問題点は明らかにしていく。

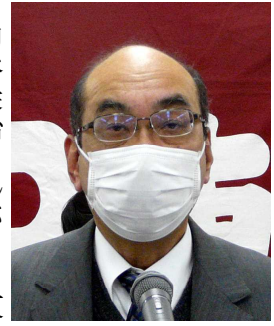
◆組合員に不整脈が出て、現場は半年間の経過観察を行うとしたが、54歳原則出向に基づく出向命令が出された。組合員は苦情処理会議の委員であるが、会社は会議の出席を認めなかったが、本人と地本の闘いで苦情処理会議の出席を認めさせた。また、地本は抗議集会を開催した。

◆連合芳野会長は、中小企業の賃上げについて「製品の価格転嫁を」と、できもしないことを述べた。実態が分かっている。

◆2022JR総連春闘では、各単組の連帯を勝ち取った。今春闘も、連帯して闘う。

◆70歳までの雇用が確保できる仕組みをお願いする。

春の闘いで組織拡大を目指そう！ 本橋書記長総括答弁



刀谷栄治さんがJR東海労に加入しました。新幹線関西地域の仲間の取り組みに心から敬意を表し、刀谷さんの加入を心から歓迎します。

厚生労働省が公表した実質賃金は、この10年間で6.5%減少、これに社会保険料や税金等を考慮した生活実感賃金は、11.8%減少です。

JR東海における賃金引き上げ額は、2006年の新人事・賃金制度の強行実施以降、17年間で11,000円です。この17年間で昇格しなかった社員の定期昇給額は32,000円です。合わせて43,000円しか基本給が上がっていません。会社は「当社の賃金水準は極めて高い」などと言っていますが、全く実感できません。

私たちは、これまで抑え込まれてきた実損回復と、組合員の生活維持・向上のために要求します。JR東海労は、JR総連方針に基づき、ベア1万円、定昇の基準昇給

額1,500円(乗数4で6,000円)、夏季手当3.5ヶ月分、専任社員は15万円の支給を要求します。

一方、JR連合はベア3,000円要求を決定しました。組合員ではなく会社に目が向き、まさに御用組合です。私たちはJR連合・JR東海ユニオンの春闘破壊を許しません。2023JR総連春闘を、全国の仲間と共に統一要求を掲げ、統一闘争で闘います。

年休裁判の闘いで、新幹線乗務員は、年休と予備担当乗務員の行路が前月25日に発表され、年休も取りやすくなったという大きな成果を勝ち取りました。要員不足を放置し、年休失効を招いた会社の違法性が明らかにされます。診断書強要行政訴訟は、団体交渉拒否以外にも「年休は欠勤である」とする会社の誤った

認識を糾していきます。54歳原則出向制度を悪用した組織破壊攻撃に抗して、仲間が裁判闘争に立ち上がっています。元職場に戻す闘いを、全組合員の力で勝ち取るようではありませんか。

リニアについて会社は、静岡県が足を引っ張っている主張していますが、丹羽副社長は1月11日、開業時期について「静岡工区の課題以外にも難しい工事が多くあり、現時点では申し上げられない」と述べました。2027年開業は不可能です。工事費についても、借り入れや返済の計画も明らかになっていません。

ウクライナ戦争で多くの市民・労働者が犠牲になっています。西側諸国からの武器供与で、ロシアと西側諸国の代理戦争になり、大きな利益を上げています。企業が存在している国、企業が存在しない国、権力者の私



刀谷さんと船出さんへの檄

利私欲のための戦争を断じて許せません。一方国内では、岸田内閣が安保関連3文書を閣議決定しました。岸田内閣は、防衛費を2027年度にGDP比2%に倍増させるとしています。国会審議も経ず内閣や与党の一存で決められ、国民の合意なく「軍拡増税」が進められています。私たちは、あらゆる戦争政策に反対し、憲法9条を守り抜く闘いをつくり出します。

捨てることであり、国民の交通権剥奪です。更に、会社は「JR東海グループビジョン2032」を関連会社社員に配布しています。「東海道新幹線依存から脱却しなければ成長はできない」「グループの利益を10年で倍増する」としています。これは関連会社

をも巻きこんで「貪欲に稼ぐ」ということです。私たちは、利益確保を最優先とした経営体力強化、仕事と生活と安全を破壊する効率化、国民の交通権剥奪に反対します。

賃金引き上げ第1回団交で趣旨説明

2023年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の趣旨

日本国内は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、各企業の業績に大きな影響を与えている。JR東海も同様に、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出及び移動の自粛等の影響により不透明な業績となっている。しかし、1月30日に発表した令和5年3月期、第3四半期決算では連結で1,806億円もの利益を計上した。昨年同黒字へと飛躍的に経営が改善した。このことは、新型コロナウイルス感染症がまだ終息が見えない中で、組合員・社員は感



名古屋地本から団交した委員に檄

また、日本の経済状況は1月20日、総務省が発表した2022年12月の全国消費者物価指数は前年同期比4%とされ、第2次石油危機の影響が続いていた1981年12月以来41年ぶりの高水準となっている。今後も多岐にわたるあらゆる生活必需品の相次ぐ値上げが予定されている。その上、ロシアによるウクライナ侵攻により石油をはじめとしたエネルギー資源の電気・ガス等の高騰によ



り光熱費の拡大を招いている。更に、大手電力会社からの電気料金値上げの申請が経済産業省にされている。

このようなことが続けば、組合員・社員の家計を直撃し、実質賃金の価値はますます目減りする状況になっている。従って、大幅な賃上げ完全実施・夏季手当の大幅支給を実施すべきと考える。この2年間、賃上げを実施してこなかったことへの実損回復もあり、将来に向けての人材確保の意味合いからも、今こそ「人への投資」が大事であると考える。

一方、役員報酬は自主返納を止め、高額な報酬を維持している。また、リニア中央新幹線建設を進めていることからすれば、組合の要求に応える経営体力は十分であると考える。従って、賃金引き上げと夏季手当及び労働条件の大幅な改善等を、組合の要求通り実現するよう強く申し入れる。

組織拡大!

刀谷栄治さん(関西新幹線サービック出向) 本部、組織破壊を許さない申し入れ行う

関西新幹線サービックに出向している刀谷栄治(かたなやえいじ)さんが2月10日、JR東海労に加入しました。加入にあたり、刀谷さんは「JR東海労に支えられて加入を決意した。これからはJR東海労を微力だが支えていきたい」と述べました。本部は2月13日、「組合員加入」に関する申し入れ(『申第12号』)を提出し、管理者等による嫌がらせ行為や業務上の事象を活用した不当・不利益な取り扱いを行わないこと、など3点にわたり会社に警告しました。

JR総連の仲間と連帯して闘う!

JR総連春闘総決起集会 齊藤書記次長決意表明行う



「2023 JR総連春闘勝利!!総決起集会」が東京目黒で開催されました。JR東海労を代表して、齊藤書記次長が決意

表明を行いました。以下、内容です。まず、報告として、2月10日新幹線関西地本で1名の組織拡大を勝ち取りました。

JR東海労は2月13日、今春闘の賃金引き上げの申し入れを提出しました。内容は、ベア1万円、定期昇給6,000円、夏季手当3,5ヶ月と専任社員に+5万円、コロナ慰労金1人10万円、改訂新人事・賃金制度の改善、出向社員の労働条件改善、専任社員の労働条件改善、経営破綻

を招くりニア建設中止など、追加申し入れ含め64項目に渡ります。今日の物価高への賃上げと共に、2期連続のベアゼロだったため、実損回復の意味合いもあると思います。団体交渉の日程は回答日を除いて5回まで決まっています。JR東海労は春闘に特化したシリーズの情報を

発行して、JR東海ユニオン批判を含めて、情報を元に組合員はもとより他労組組合員との職場で議論を展開して所存です。厳しい交渉となりますが、団交3名は、満額獲得を目指して粘り強く交渉していくことを述べて、JR東海労として春闘への決意とします。

最終意見陳述を行い、年休裁判(大阪)結審

大谷川公明さんが年休の失効に対する損害賠償を求め大阪地裁に提訴した年休裁判は2月27日、原告の最終意見陳述を以て結審しました。2017年11月28日提訴以降、約5年間にわたる闘いでした。

定されないという就業規則違反が罷り通っていた。また、多くの社員の年休が失効されてきた。裁判を通じ、前月25日に乗務行路が指定され、年休も取得しやすくなるなど、成果を勝ち取ってきた。判決は7月6日に言い渡されます。

新幹線乗務員の予備勤務者はこれまで、勤務日5日前まで乗務行路が指

度重なる出向者の賃金誤支給 原因・対策などを申し入れ

警備会社に出向している組合員2名に対し、賃金過払いが発生しました。1名は5,814円、もう1名は31万9,929円です。過去にも、出向者の賃金誤支給が多く発生していました。本部は2月20日、「賃

金誤支払い(過払い)に関する申し入れ(『申第14号』)を提出しました。内容の要点は、以下の通りです。1. 改めて勤務実績表等を使用して文書で詳細について本人に通知すること。

パワハラ長期日勤教育・組織破壊攻撃を許さないぞ!

JR東海労組横浜地本と交流会

新幹線地本と東京運輸所分会は2月15日、JR東海労組国府津運輸区分会組合員への2ヶ月以上にも及ぶ日勤教育に対して、JR東海労組の仲間と共に闘うために横浜地本を激励に訪れ、意見交換を行いました。

やられました。この攻撃は、根拠も示されず、長期にわたり乗務を外し、運転士不適合と決めつけるという、かつてJR東海労にかけられた攻撃を超える熾烈なものです。不当な懲罰的日勤教育は、国府津以外にも、宇都宮(発車前に運転士見習いがトイレに行き、教導運転士が運転席に座った事象)、盛岡(私物のカメラで同僚の退職記念写真を撮影した事象)などがあります。

交流会を通じて、お互いに攻撃を跳ね返すために職場から闘うことを意思統一しました。



ストッププリニア訴訟結審 裁判に組合員が駆けつける!

ストッププリニア訴訟第26回口頭弁論が2月3日、東京地裁で開廷され結審しました。

原告を代表して天野捷一さんと森伸一さん、弁護団からは関島弁護士、和泉弁護士、半田弁護士、山下弁護士、岡本弁護士、樽井弁護士が意見陳述を行い結審しました。判決は7月18日に言い渡されます。



JR東海労からは、本部・新幹線地本から組合員・OBが参加し、前段集会では本橋本部書記長、報告集会では成田本部長が連帯の挨拶を行いました。